

神様への道





© 2011, W.M.Press, Inc. Cover art, Edwin B. Wallace. Meryl Esenwein art above and on pages 10, 12, 14, 16, 27, 29, 39, 41, 42, 44, 46, 47, and 48.

新改訳聖書 Used by permission。

神様は私たちの世界と
すべての生きているものを作りました。

「初めに、神が天と地を創造した。」創世記 1 : 1

「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。 . . .
すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって
造られ、御子のために造られたのです。」

コロサイ人への手紙 1 : 16

「あなたがたが主によって祝福されるように。主は、天と地
を造られた方である。天は、主の天である。しかし、地は、
人の子らに与えられた。」 詩篇 115 : 15, 16

神様が人間に地球を与えた時、それは完璧なもので
した。これを読んで何が起きたのかを見つけてください。

神様は私たちが造られました。



「そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたち
に、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、
地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配させよ
う。」と仰せられた。」

創世記 1 : 26

人間はまことに生きる魂になりました。

3

「その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」

創世記 2:7

「その後、神である主は仰せられた。「人が、ひとりでいるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」そこで神である主が、深い眠りをその人に下されたので彼は眠った。それで、彼のあばら骨の一つを取り、そのところの肉をふさがれた。こうして神である主は、人から取ったあばら骨を、ひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。」創世記 2:18、21-22

* 「生きものとなった」というのは、私たちが永久にどこかにいることを意味します。

アダムとイブは神様に従いませんでした。



私たちは決してサタンの声を聞いてはいけません。

「神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。神である主は、人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」」創世記 2:15-17

大蛇は、悪魔あるいはサタンと呼ばれて、神様の権威に尋ねて、そしてうそをつきました。

「そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。」

創世記 3:4、6

6 アダムとイブはもうエデンの園にいたことが できませんでした。



「そこで神である主は、人をエデンの園から追いだされたので、人は自分がそこから取り出された土を耕すようになった。こうして、神は人を追放して、いのちの木への道を守るために、エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣を置かれた。」

創世記 3 : 23、24

アダムとイブが罪を犯したとき、
それは人類にとって悲しい日となりました。



「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、・・・それというのも全人類が罪を犯したからです。」

ローマ書 5：12

すべての人は罪の性質で生まれ、死は罪によって来たので、人は必ず死ぬことをおぼえていなければなりません。

(再びローマ書に5：12を読んでください。)

罪から私たちを救う神様の計画は
ただ御子を送ることだけでした。



「マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

マタイの福音書 1:21

「キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。」 コロサイ人への手紙 2:9

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

ヨハネ福音書 1:1、14

「このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）」マタイの福音書 1:22、23

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。」イザヤ書 9:6

10 イエス・キリスト様は 私たちの完べきな犠牲です。

「神は、罪を知らない方、・・・」コリント人への手紙第二 5：21



「罪を犯したことがなく、・・・」

ペテロの手紙第一 2：22

人間が作ることができた犠牲（捧げ物）は罪を取るのに十分完べきではありませんでした。

「雄牛とやぎの血は、罪を除くことができません。」

ヘブル人への手紙 10：4

イエス様は神様の子羊です。「その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」

ヨハネ福音書 1：29

イエス様は私たちを救うためにいのちを与えてくださいました。 11

イエス様は、残酷な人々に憎まれ、木製の十字架にくぎで打ち付けられました。しかし、キリストの死は、神様の御計画でした。イエス様はあなたと私を罪から救うために、自ら進んで、そのいのちを与えてくださいました。イエス様はこう言われました。「だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父ら受けたのです。」ヨハネ福音書 10：18

私たちは神様の子羊の血によって救われます。

「ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わったむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。」ペテロの手紙第一 1：18、19

他のどのような犠牲も、罪を取り去ることはできません。

「このみこころに従って、イエス・キリストのからだを、ただ一度だけささげられたことにより、私たちは聖なるものとされているのです。」

ヘブル人への手紙 10：10

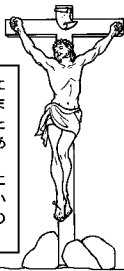
12 「ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。」ローマ書5:9

「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」



この泥棒はイエス様を信じ、そして救われました。

イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」ルカの福音書 23 : 43



この泥棒はイエス様信じず、ゆえに彼は救われませんでした。

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」

ローマ書5:8

神様の御子を信じるすべての人は命を持っています。 13

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

ヨハネ福音書 3 : 16

「神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。」

コロサイ人への手紙 1 : 13、14

* 購いというのは、私たちが買い戻されたことを意味します。



「すると、御使いは女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんください。」」

マタイの福音書 28 : 5、6

イエス様は死からよみがえられました。 15

「生きている者である。わたしは死んだが、見よ、いつまでも生きている。また、死とハデス[地獄]とのかぎを持っている。」

黙示録 1 : 18

「わたしが生きるのも、あなたがたも生きるからです。」

ヨハネ福音書 14 : 19

キリストが死を征服されて、死への鍵を持っているので、私たちはもう死を恐れる必要がありません。

「恐れのある日に、私は、あなたに信頼します。」詩篇 56 : 3

(神様の約束については 46 ページを見てください。)

イエス様はあなたを救うことができます。そしてあなたのために祈っておられます。「しかし、キリストは永遠に存在されるのであって、・・・したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。」ヘブル人への手紙 7 : 24、25

16 あなたと私は永遠のいのちを持つことができます。



あなたはどちらの道をとっていますか？

イエス・キリストは、神様と一緒に永遠のいのちへの歩みです。

悪魔やサタンは、永遠の死への歩みです。

この少年は、永遠のいのちへの正しい選択をします。

あなたはどちらを選びますか？

17

「・・・あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、
きょう選ぶがよい。」
ヨシュア記 24：15

「・・・あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、」
申命記 30：19

イエス様は、永遠の命の道です。

「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も人間に与えられていないからです。」
使徒の働き 4：12

「わたし、このわたしが、主であって、わたしのほかに救い主はいない。」
イザヤ書 43：11

なぜ私たちが永遠のいのちを欲するなら、
イエス様を選択しなくてはいけないのでしょうか？



1. 来られた方はキリストです。

「わたしが来たのは、羊がいのちを得、
またそれを豊かに持つためです。」

ヨハネ福音書 10 : 10

2. 私たちを愛し、そして私たちに命を捧げら
れたのはキリストです。

「・・・キリストが・・・私を愛し私のため
にご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によってい
るのです。」

ガラテヤ人への手紙 2 : 20

「そこで、子たちはみな血と肉とを持っているので、主も 19
また同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その
死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐
怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださるためです
た。」

ヘブル人への手紙 2 : 14、15

3. ただイエス様の血だけが私たちの罪をあがなえます。

「・・・いのちとして贖いをするのは血である。」 レビ記 17 : 11

「・・・御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」

ヨハネの手紙 第一 1 : 7

「この御子のうちにあって、私たちは、贖い、[救い]すなわち罪の赦
しを得ています。」

コロサイ人への手紙 1 : 14

4. 死者の中から復活したのはキリストです。



「キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはなく、死はもはやキリストを支配しないことを、私たちは知っています。」
ローマ書 6 : 9

「また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。」
コリント人への手紙第二 5 : 15

イエス様は言われました。「わたしが生きるのです、あなたがたも生きるからです。」
ヨハネ福音書 14 : 19

5. 私たちは永遠の命を得るためにキリストの御霊を 21
持っていないではありません。（永久に生きるために）

「この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光
の望みのことです。」 コロサイ人への手紙 1：27

「もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あ
なたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを
死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住ん
でおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも
生かしてくださるのです。」 ローマ書 8：11

キリストの御霊があなたに住んでいることを確かにしてください。

「・・・キリストの御霊を持たない人は、キリストのものではありません。」
ローマ書 8：9



「そしてイエスは子どもたちを抱き、
彼らの上に手を置いて祝福され
た。」 マルコの福音書 10 : 16

「幼子でさえ、何かするとき、その
行ないが純粹なのかどうか、正しい
のかどうかを明らかにする。」

箴言 20 : 11

イエス様が私を愛して下さっていることをしています。
なぜなら聖書にそうあるからです。

イエス様はすべての子供たちを愛します。

23

「しかしイエスは、幼子たちを呼び寄せて、こう言われた。「子どもたちをわたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。」 ルカの福音書 18 : 16

「このように、この小さい者たちのひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではありません。」 [滅びることは、永久に失われることです。] マタイの福音書 18 : 14

あなたが誰であるか、またどこに住んでいるかにかかわらず、イエス様はあなたを愛して、そしてあなたのために命を捧げました。イエス様があなたを愛したようにあなたがイエス様を愛することをあなたに望まれます。あなたはイエス様に従うことによって、あなたの愛を示すことができます。

「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」 ヨハネ福音書 14 : 15

24 どのようにして神様への道を見つければよいでしょうか？

1. あなたが罪人であることを認めてください。（あなたは神様に服従しませんでした）。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず。」

ローマ書 3 : 23

2. イエス・キリストを通して神様のところに来てください。

「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。」 テモテへの手紙第一 2 : 5

「したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。」 ヘブル人への手紙 7 : 25

イエス様は言われました。「・・・そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。」 ヨハネ福音書 6 : 37

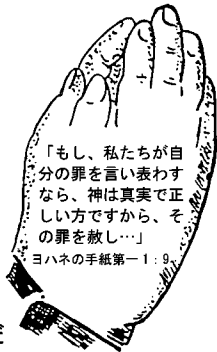
3. あなたの罪を認めて悔い改めてください。

(過ちを認めて後悔することは罪を犯すことをやめようとすることです。)

「…あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、…」使徒の働き 3 : 19

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」

ペテロの手紙第二 3 : 9



「もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し…」

ヨハネの手紙第一 1 : 9

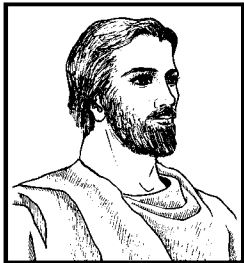
4. イエス様にあなたの罪を明らかにしてください。(罪を告白することはそれを認めることです。)

26 次のラインの上に、ヨハネの手紙第一 1 : 9 を書いてください。

5. あなたの罪を放棄しなさい。

「自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。それを告白して、それを捨てる者はあわれみを受ける。」箴言 28:13

「悪を離れて善を行ない、いつまでも住みつくようにせよ。」詩篇 37 : 27



6. イエス・キリストを信じなさい。 27

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」

エペソ人への手紙 2:8、9

「…もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ローマ書 10:9

「…「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と言った。」

使徒の働き 16:31

7. あなたの心といのちの中にイエス・キリスト様を受け入れてください。

ただあなただけがあなたの心のドアを開けて、イエス様をあなたの中に招き入れることができます。

イエス様は言われました。「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」 黙示録 3:20

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」 ヨハネ福音書 1:12



もしあなたが祈ったことがなくどういうようにすればよいかわからないのでしたら、このように祈ることをおすすめします。



親愛なる主イエス様、

私の罪を取り除くために十字架にかかって死んでくださったことを、感謝します。わたしがしたすべてのわるいことをあやまります。わたしの心にきてそこに永遠に住んでくださることを願います。わたしはあなたが今この時にわたしの心をきよめてくださることを信じています。私はあなたを私の救い主として受け入れます。

イエス様のお名前によって、アーメン。

あなたの心にイエス様が居られるなら、
あなたは永遠のいのちを持っています。

「…神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。御子を持つ者はいのちを持っており…」
ヨハネの手紙第一 5:11、12

「…わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は…死からいのちに移っているのです。」
ヨハネ福音書 5:24

「この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。」
コロサイ人への手紙 1:27

もしあなたがイエス様にあなたの罪を赦すように頼み、あなたの救い主として主イエス・キリスト様を信じるなら、下にあなたの名前を書いてください：



毎日、聖書（神様のみ言葉）を読み、あなたに役立つ聖句をおぼえることによって、こころに神様の御言葉をしまってください。（この小さな本のなかにたくさんあります。）

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」

テモテへの手紙第二 3：16

どんな時でも祈りでイエス様に話をしてください。

生活の中のよいことすべてをイエス様に感謝してください。あなたのためにそしてその魂を救うためにしてください。あなたのためにそれを讃美してください。あなたが必要としていることをなんでも祈ってください。イエス様の御名によって祈ってください。

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ…」

ヨハネの手紙第一 5:14

「…あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。」

ヨハネ福音書 16:23



「…互いのために祈りなさい…」ヤコブの手紙 5:16

「…自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」

マタイの福音書 5:44

イエス様は弟子たちに祈りを教えました。

33

(弟子とはイエス様の後に従う人です)

イエス様はこのように祈ることを弟子たちに教えました。

だから、このように祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものであるからです。アーメン。〕

マタイの福音書 6 : 9-13

神様の十戒は私たちにどのように
生きるべきか教えます。

(出エジプト記 20 書)

最初の4つは、神様へのわたしたちの愛についてです。

1.) 「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。」

2.) 「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。…どんな形をも造ってはならない。それらを拜んではならない。それらに仕えてはならない。」

3.) 「あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。」

4.) 「安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。」

5.) 「あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしておられる地で、あなたの齢が長くなるためである。」

6.) 「殺してはならない。」

7.) 「姦淫してはならない。」

(姦淫は、夫もしくは妻の性的な不誠実です。)

8.) 「盗んではならない。」

9.) 「あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない。」

10.) 「…すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」

神様への服従が我々の祈りに答えをもたらします。

「また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行なっているからです。」

神様への愛

1.) 「そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。」

マタイの福音書 22 : 37、38

人間への愛

2.) 「『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。」

マタイの福音書 22 : 39

すべての十戒（ページ 34 と 35）は 2 つの最も大きいおきてに含められます。



愛は、すべての中で最も偉大です。

37

素晴らしい「愛章」

(コリント人への手紙第一 13:1-8、13)

1. たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。
2. また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、また、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値うちもありません。
3. また、たとい私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。
4. 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

- 38 5. 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、
6. 不正を喜ばずに真理を喜びます。
7. すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。
8. 愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。
13. こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

神様は愛です

「・・・神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。」

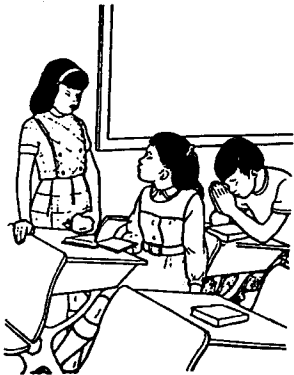
ヨハネの手紙第一 4 : 16

イエス様はあなたが他の人々に証しすることを 39
望んでおられます。

(家庭で、学校で、教会、そしてどこにいるときも)

イエス様はこう言われました。
「しかし、お許しにならないで、
彼にこう言われた。「あなたの
家、あなたの家族のところに帰
り、主があなたに、どんなに大
きなことをしてくださったか、
どんなにあわれんでくださった
かを、知らせなさい。」」

マルコの福音書 5 : 19



神様の本当の子供を知る方法。

「こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。」
マタイの福音書 7 : 20

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です…。」
ガラテヤ人への手紙 5 : 22、23

神様の本当の子供は、他人を赦します。

「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。」
マタイの福音書 6 : 14

神様が憎む 7 つのもの

「高ぶる目、偽りの舌、罪のない者の血を流す手、邪悪な計画を細工する心、悪へ走るに速い足、まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いをひき起こす者。」
箴言 6 : 17-19



肉の働き

41

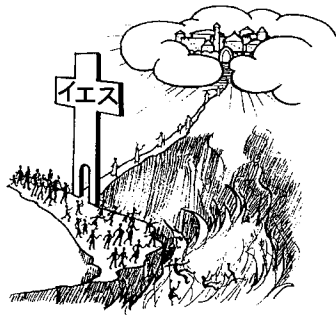
「…不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです…こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」 ガラテヤ人への手紙 5:19-21

「…姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、そしる者、略奪する者はみな…」

コリント人への手紙第一 6:9-10

聖霊によってあなたをイエス様で満たし、あなたを清くしてください。

「あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。」 コリント人への手紙第一 6:11



(ルカの福音書 16 : 19-26 を
読んでください。)

あなたがイエス・キリスト様を
信じていることを明確にしてく
ださい。神様は命の書にあなた
の名前をかきとめます。

「いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池
に投げ込まれた。」

黙示録 20 : 15

イエス様は唯一の神様への道です。

43

「そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。」

ヨハネの手紙第一 5:11

「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

ローマ書 6:23

「御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることなく、神の怒りがその上にとどまる。」

ヨハネ福音書 3:36

「イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」」

ヨハネ福音書 14:6

天国は本当にあるのです。

黙示録 21 で、使徒ヨハネは幻で、新しい天国と新しい地球を見ました。



「彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」

黙示録 21：4、5

ヨハネは同じく、神聖なまち、新しいエルサレムに天国から神様がおりてこられるのを見ました。

「その城壁は碧玉で造られ、都は混じりけのないガラスに似た純金でできていた。都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイヤ、第三は玉髓、第四は緑玉、」黙示録 21：18、19

イエス様は彼を信じるすべてのために
家を用意するために行かれました。

45

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

ヨハネ福音書 14 : 1-3

他の人たちにこのよい知らせを話してください。

「それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」

マルコの福音書 16 : 15

「正しい者の結ぶ実はいのちの木である。知恵のある者は人の心をとらえる。」

箴言 11 : 30

神の子供たちへの神様の約束



「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」
ヘブル人への手紙 13 : 5

「まことに主は、あなたのために、御使いたちに命じて、すべての道で、あなたを守るようにされる。」
詩篇 91 : 11

「…だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。」
ヨハネ福音書 10 : 29

「…わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」
マタイの福音書 28 : 20

「あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。…死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」
黙示録 2 : 10

「…やみの中にすわっていても、主が私の光であるからだ。」
ミカ 書 7 : 8

「わたしを呼べ…わたしは、あなたに答え…」
エレミヤ書 33 : 3



すべての人が、死から上げられます。

「このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞いて出て来る時が来ます。善を行なった者は、よみがえっていのちを受け、悪を行なった者は、よみがえってさばきを受けるのです。」
ヨハネ福音書 5 : 28、29

キリストを信じて死んだ人がはじめに天国にいきます。

「次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」
テサロニケ人への手紙第一 4 : 17

「気をつけなさい。目をさまし、注意していなさい。その定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。」
マルコの福音書 13 : 33

どのようにイエス様は来られますか？



「見よ、彼が、雲に乗って来られる。
すべての 目、…彼を見る」 黙示録 1 : 7

キリストの名をかたる者や偽りの預言者に
用心してください。

「そのとき、『そら、キリストがここにいる。』
とか、『そこにいる。』とか言う者があっても、
信じてはいけません。…『そら、荒野にいらっし
やる。』…『そら、へやにいらっしやる。』と聞
いても、信じてはいけません。」

マタイの福音書 24 : 23、26

イエス様は天国の雲ですばやくいらっしやいます。

「人の子の来るのは、いなづまが東から出て、西にひらめくように、ちょう
どそのように来るのです。そのとき、人の子のしるしが天に現われます。す
ると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光
を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。」 マタイの福音書 24 : 27、30

羊飼いの詩篇（詩篇 23）

1 「主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。

2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。

3 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。

4 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。5 私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。私の杯は、あふれています。

6 まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。」

Published in numerous languages as God supplies funds in answer to prayer. If you would like more copies for prayerful distribution, write in English. Specify which language(s) you need and how many booklets.

World Missionary Press, PO Box 120, New Paris, IN 46553-0120 USA

興味がおありでしたら、下記までご連絡ください。

Free – Not to be sold 無料（非売品）



Read booklets online or by App
www.wmp-readonline.org